

# 考察 (調査データの特徴)

## 1. データの信頼性

- ・ Open question が多い
- ・ 同一情報に関する複数質問項目の不整合

医師記入用調査票

患者家族記入用調査票 (時間軸記入、自由記載)

## 2. 選択バイアス

本当に克服できたのか?

## 3. 時間性

タミフル服薬時刻に関する情報は時間軸記入票のみ  
異常行動発現時刻とタミフル服薬時刻の整合?

医師用

タミフルが流行している期間の中で、発症が急な患者様から施設で100〜200名の調査をお願いします

### 経過観察調査票

カルテ番号 (患者番号)	性別	年齢	生年月日	入院日
初診日時	性別	年齢	タミフルの ブタデシドシ	服用回数
迅速検査キットによる診断	検査結果	インフルエンザの診断	検査結果	検査結果
現在病状 (検査時)	呼吸器系	消化器系	循環器系	神経系
最初の発症	発症日時	発症時刻	発症時刻	発症時刻
経過観察終了日(最終検診日時)				

※ 発症や「患者家族用調査票」の記載などに基づいて発症時刻の時刻を記載します。  
「有」の場合 (最初の発症日時~その消失日時 (又は経過観察終了日時))  
時刻は24時間表記してください

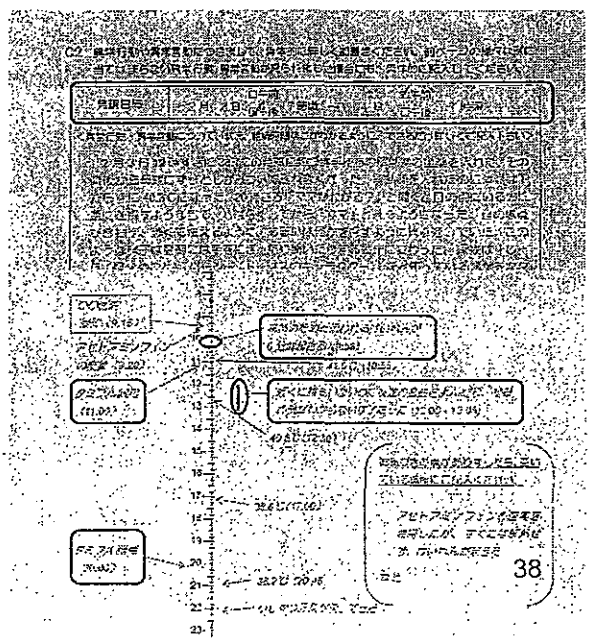
呼吸器系	発熱	咳	痰	声帯炎
消化器系	嘔吐	下痢	食欲不振	腹痛
循環器系	胸痛	動悸	息切れ	血圧変動
神経系	意識障害	けいれん	異常行動	その他

※ 「異常行動発現時」に発症の発症時刻(分まで)が記載されていることを確認してください。

タミフル  
アセトアミノフェン  
その他

太字の中に記入をお願いします。

生年月日	性別	年齢	性別
初診日時	性別	年齢	性別
最初に発症した日時	その時の体温		
発症までに 使用した薬剤 (抗ウイルス薬など)			



## 初期生データの信頼性

### ➤ 医師用・患者用調査票データの不整合

初診日時 1,582

最初の発熱： 日時 3,862      体温 1,466 (36.3~42.0 °C)

➤ タミフル使用 (+) 7,760 (医師用)   
     ↳ 服薬時刻 (+) 7,138 (患者用時間軸)   
     ↳ 服薬時刻 (-) 622

➤ 異常行動 (+) 1,425 (医師用)   
     ↳ 開始時刻 (+) 901 (医師用)   
     ↳ 開始時刻 (-) 524



調査票精査

異常行動 (+) 1,477

    ↳ 開始時刻 (+) 1,261 (患者用/時間軸)   
     ↳ 開始時刻 (-) 216

39

## 時間性に係るデータ精査

調査票	初診	タミフル服薬	異常行動発現
医師用	2/14, 15:00		<del>2/14, 17:00</del>
患者(異行)			2/14, 19:00 pm
患者(時間軸)	○2/14, 15:30	→ 2/14, 18:00	→ 2/14, 19:00
医師用	<del>○2/16, 19:00</del>		<del>2/16, 19:00</del>
患者(異行)			○2/16, 19:00 pm
患者(時間軸)	2/17, 9:45	← 2/16, 21:00	2/17, 23:00
医師用	3/6, 午前		<del>3/4, 11:00</del>
患者(異行)			<del>3/4, 11:00 pm</del>
患者(時間軸)	○3/6, 10:00	→ 3/6, 14:00	○3/5, 23:00
医師用	2/21, 9:00		<del>2/21, 14:30</del>
患者(異行)			<del>2/21, 2:30 pm</del>
患者(時間軸)	○2/21, 9:00	→ 2/21, 23:30	→ 2/22, 2:30

40

## 結 語

---

堅固なエビデンスを整備するためには、良好なデザインのもとで「受診後に異常行動 A を発現した患者を症例とした、case-control study」を実施することが望ましい

---

# インフルエンザ罹患に伴う 異常行動研究

臨床WG2008年7月10日  
2007/2008シーズン報告

厚生労働科学特別研究事業  
「インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動  
情報収集に関する研究」主任研究者  
国立感染症研究所 岡部信彦

1

## 研究班

### 主任研究者

- 岡部信彦 (国立感染症研究所感染症情報センター長)

### 分担研究者 (五十音順)

- 内山真 (日本大学医学部精神神経科教授)
- 大日康史 (国立感染症研究所感染症情報センター主任研究官)
- 谷口清州 (国立感染症研究所感染症情報センター第一室室長)
- 宮崎千明 (福岡市立西部療育センター長)
- 桃井真里子 (自治医科大学小児科学教授)

2

# 報告の内容

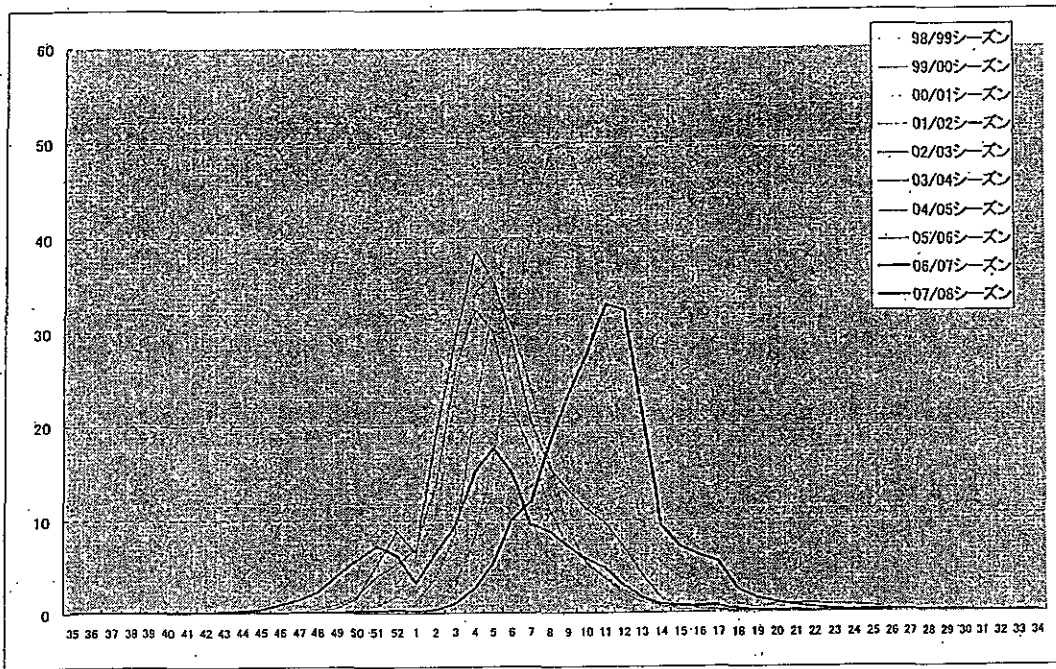
- インフルエンザ2007/2008シーズン
- 調査概要
- 重度の分析
- 軽度の分析
- まとめ

3

インフルエンザ  
2007/2008シーズン

4

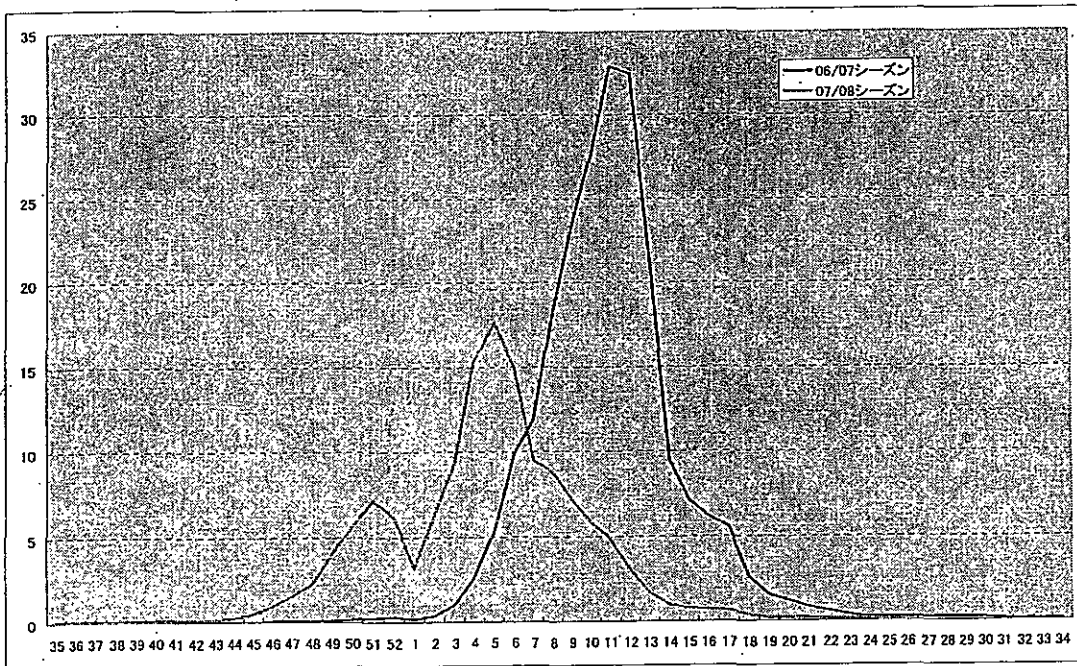
# 図1.インフルエンザ患者報告数



5

出典:発生動向調査

# 図2.インフルエンザ患者報告数



6

出典:発生動向調査